



就/任/挨/拶

一緒に考える

農林水産政策研究所長 吉村 馨

農林水産政策研究所長の吉村です。1月14日付で渡部前所長の後任を務めることになりました。よろしくお願いします。

所長に就任してから農林水産政策研究所というのは何をしているところですかと訊かれることが少なくありません。もちろん質問している人はほんの挨拶代わりに訊いているので、長い答えは期待されていません。10秒で答えるとなると、「政策を立案する人、政策を実施する人、そして食料、農林水産業、農山漁村に関係する幅広い皆さんに、客観的で、時宜に即し、実用性があり、質の高い経済的な調査、分析、データをお届けする所です」とか「食料・農林水産業・農山漁村分野の経済問題についてアドバイスやアイデアを提供する専門家組織です」といったことになるのでしょうか。

いずれも、知らないことを知りたい、分からないことを分かりたいという人に何らかの答えをするという仕事です。そういう意味では、当研究所は質問をするというよりは、答えを出す立場の組織だということになります。

私は、この仕事に就く前九州農政局長を務めていました。これも何らかの答えをすることを期待される立場だなと想像する方が多いと思います。事実そうだと思いますが、私は、いろいろな会合や意見交換の機会に、参加している皆さんにずいぶん多くの質問をしてきました。その内容は、先ほどの「知らないこと」や「分かりたいこと」を訊くということでは必ずしもありません。どちらかといえば、日頃考えないで過ごしてしまっているようなことについて、みんなで一緒に考える時間を持つ、そのためのきっかけ作りに質問をするというものでした。

こう言っても分かりにくいので実際した質問をい

くつか挙げてみましょう。一番多くしたのは「規模拡大（農地集積）は何のためか？」という質問です。たぶん延べ千人以上の人に質問しました。もちろんいきなり質問されてもどう答えていいか戸惑う人がほとんどでしょうから、二つの選択肢をあげてどちらかに手を挙げてもらっています。一つの選択肢は、「担い手や後継者が少なくなる中で地域の農業を維持していくため」、二つ目は、「国際的に競争できるような農業にするため」です。どちらでもないと答えた人には、みんなの前で自分の答えを説明してもらうというペナルティーが科されるので、だいたいの人とはどちらかに手を挙げてくれます。ざっとした感じでは、一つ目が7割、二つ目が3割といったところでした。ひとたびどちらかに手を挙げると、なぜそう考えたか、別の選択肢に対してどんな違和感があるのかとどんどん意見が出てきます。でも一番いいことは、「自分（自分の地域）は規模拡大や農地集積は関係ない」と思っていた人も一緒に考えてくれることかもしれません。

あと一つ例を出しましょう。これは、女性の参画がテーマです。「補助事業の採択で女性起業者を有利に扱うという決まりのせいで事業採択されなかった男性が怒っています。その人にどう説明しますか？」という質問です。この答えは三択です。一つ目は、「補助事業の重要な目的は、今後の取り組みのモデルとすることであり、男性の取り組みも女性による事業もあった方がモデルとして役に立つ」というもの、二つ目は、「女性による取り組みは、申請書の内容以上の成果が期待できるので、申請書の内容や点数だけで判断せず、女性による申請ということを加味している」というもの、三つ目は、「これまで制度的・社会的な制約で女性の活躍の場を十分に提供してこなかったのが、社会全体で償う」と



吉村 馨（よしむら かおる）

いうものです。ここまで書くと気づいた方もいると思いますが、これらの選択肢は、サンデル教授の白熱教室の積極的介入政策（アフーマティブアクション）の箇所をパクっています。この質問は延べ300人ぐらいの人にしてきて、結果は、一つ目の質問に手を挙げた人が8割、二つ目が2割、三つ目が数人といったところでした。もちろん三つの選択肢のどれが正しい答えだというものではありません。ただ、いずれかの選択肢に手を挙げることで、補助

事業に関心を持っている女性はもちろん、遠い話だと思っていた人たちも、自分の取り組みってどうなんだろうと考えるきっかけになっていると思います。

当研究所は、今後も食料・農林水産業・農山漁村をめぐる様々な問題に関心を持つ多くの皆さんからの質問に答え、注文に応じていきます。一方で、正解がない質問をすることで、関係者の皆さんと一緒に考える機会も作っていきたいと思っています。

農林水産政策研究所長（Director General）

略歴：

1955年生まれ	（東京都出身）
1978年	東京大学法学部卒業
同年	農林省入省
1995～1998年	在アメリカ合衆国日本国大使館参事官
1998年～	食品流通局品質課長，食糧庁総務部企画課長， 農村振興局農村政策課長，経営局総務課長， 大臣官房文書課長を経て
2004～2005年	大臣官房審議官（国際）
2005～2008年	大臣官房国際部長
2008～2009年	大臣官房総括審議官（国際）
2009～2011年	農村振興局長
2011～2014年	九州農政局長
2014年～	農林水産政策研究所長（現職）

